

提出された意見と市の考え方

No.	提案箇所	提案された意見	市の考え方
1	P30-31	赤羽根地域の公共施設の適正化で、敷地全体の利用計画の検討を最初に行ってください。 現在の余地に複合施設を配置するのではなく、将来計画の中で複合施設の位置を決めてください。 国道 42 号線の信号交差点から赤羽根診療所へ行くための道路を新設し敷地を東西に 2 分割すれば、東側を赤羽根福祉センター・赤羽根診療所・複合施設の公共用地とし、西側を大きい整形地（長方形）とすれば跡地の活用の用途の範囲が広がる。	道路を含む敷地全体の利用計画の検討は、複合施設の整備と並行して進めていく予定をしておりますので、計画は原案のとおりとします。
2	P34-35	文化財施設のあり方の検討で、崙山会館は古く面積も大きく田原市博物館に隣接しているので、分散している文化財の収蔵庫として建替え、学芸員の移動の軽減、文化財の調査・保護・活用を図ってください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
3	P34-35	田原市博物館の展示室のガラスが反射して見辛いので、低反射高透ガラスやガラスを手摺ぐらいの高さにしてください。	ご意見については、施設所管課と情報共有させていただき、計画は原案のとおりとします。
4	P34-35	文化財の調査・保護・活用している「ふるさと教育センター」は生涯学習課の管轄ですが、文化財施設として活用しており、また文化財課の会計年度任用職員の調査員・整理作業員が作業しており、ふるさと教育センターも文化財施設と同様の施設なので注記で記載してください。	「ふるさと教育センター」は複合的な施設となっており、一部を文化財展示室として活用していますので、該当する部分を追記します。
5	P46-47	学校プールの集約化で、能登半島地震を見ると崖崩れや家屋の倒壊、津波浸水などで半島は物資の輸送に日数が掛かるので、プール跡地を地域特性を見ながら物資の輸送に時間が掛かる地域に防災備蓄倉庫を分散して整備してください。	ご意見については、参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。
6	—	ぐるりんバスの運用について改善を求める。地域住民にとって大変不便。①停留所の位置を増設。②運行時刻の増設。③停留所の位置を住民の利用し易いところへ。これらの改善によって、田原中心地区への消費増加が見込まれることを思料されたい。	ご意見については、公共交通施策を推進する上での参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。